

【小樽商工会議所会頭賞】

消費税と社会保障

小樽市立菁園中学校 一年

長谷川 朝陽

「消費税」は、去年一番盛り上がった話題と言っても過言ではないだろう。わたしが「消費税」を意識し始めた頃は、確か5%だったはずだ。実に二倍である。ここまで上げる理由があるのだろうか。私は疑問を覚えた。なぜなら、「5%還元」は経済悪化を懸念して設置されていたように、それだけ増税は経済に影響が大きいからだ。そこで私は「なぜ増税されたのか」「私達が払った税金はどこに使われているのか」を調べることにした。

一番の理由は、「社会保障」だそう。社会保障は、消費税からも払われているという。「社会保障」は、現役の働いている世代が保険料を支払って、老後に恩恵を受けるシステムなのでは？と思ったが、少子高齢化が背景にあった。現役の世代が働けなくなって、社会保障を受け取る頃になったら、現役の「保険料を支払う」世代は大きく減っているだろう。その状態で、数が増え続けている高齢者に、保険料だけで十分な社会保障を支払い続けることができるだろうか。答えはノーだ。消費税が組み込まれていなくなったら、自分が現役の頃は保険料を沢山支払ったのに社会保障がほとんどもらえない、最悪全くもら

えないこともあり得るのではないだろうか。そういうことを防ぐため、すべての世代が支払う「消費税」で賄うことで、現役の世代の負担を減らすことができる。

また、社会保障は借金から賄っている面もあり、借金を使いすぎると、あとの世代に負担を残してしまう。それをできるだけ減らす目的もあるそう。

それに社会保障を受けるのは高齢者だけではない。教育を受ける「学生」にも恩恵がある。具体的には、「高等教育の無償化」などだ。また、私達中学生に直接関係はないが、保育園の待機児童を減らすこともできる。これは今とても問題になっているので、対策を練ることは重要だ。

そして消費税は、私達の使う教科書や机、学校の備品等にも利用されている。消費税が足りなくなったら、これらは自費で支払うことになってしまうだろう。私達が支払う消費税は、自分たちのためでもあるのだ。

今私達にできることは、消費税に関して政府の足を引っ張らないことだろう。今コロナウイルスのために消費税を軽減すべきだという声が見受けられるが、PCR検査にも保険が適用されている。消費税により社会保障が不足してしまったら、私達は多額をPCR検査に費やすことになってしまうだろう。

このように、調べてみると、消費税はとても大切なことであり、今の社会保障を維持するためにはとても重要であることがわかった。今私達が勉強できていること、病院に行けること、全ては我々の支払う税によるものであった。私達は自分たちの未来のために納税しているのである。